

童童クラブ だより



島之内保育園 地域子育て支援センター
令和6年7月1日 第272号

6月は、カエルのオモチャ作りと折り紙あそびと製作が2つはありましたが、少しは楽しんで頂けましたか？（子どもの参加は、年齢が低いこともあって少なかったのですが...）

親が子どものために楽しみながら何かを作ったりすることは、料理もしかりですが、子どもにとっては、とても嬉しいことですよね。子どもも興味や関心はそれぞれに違うので一概には言えませんが、回りの大人が楽しく参加している姿を見て「私もやってみたい」という気持ちも強くなるのではないのでしょうか？

手先の器用さは将来にわたっていいことづくめですが、子どもへの小さい時期のかかわり方で随分違ってくるのではないのでしょうか。お絵かき、おりがみあそび、廃材を使ったオモチャ作りなどたくさん経験させてあげたいですね。



今月の予定

2日(火) コーナー自由あそび
3日(水) 笹飾り作り
4日(木) "

9日(火) 身体計測
10日(水) コーナー自由あそび
11日(木) 絵本読みきかせ

16日(火) お誕生会
17日(水) コーナー自由あそび
18日(木) 魚すくいあそび

23日(火) コーナー自由あそび
24日(水) お舟を作ってあそぼう
25日(木) "

30日(火) わらべうたあそび
31日(水) コーナー自由あそび

《お知らせとお願い》

- 夏休み期間中の幼稚園生、小学生の利用はご遠慮ください。
- 7月のお誕生会は、いつもより早い16日に行います。
- 食中毒のおこりやすい季節です。お弁当持参の方は、十分にお気をつけ下さい。
- 18(木)・24(水)・25(木)は、水に濡れてもいい服装でおいでください

子育ての目標は子どもを自立させること

幼い子どもは大人の手助けを必要としますが、成長とともに自分でできることが増えてきます。「今の自分の関わりは子どもの自立の援助になっているだろうか」という視点でおうちの方自身の行動を振り返ると、何でも先回りしてやってあげるとは子どもの自立の妨げになると気づくのではないのでしょうか。子どもが自分のやるべきことに取り組み、自分で責任を取れるようになるために、あえて手助けをせずに見守る勇気も必要です。

子どもの短所ではなく長所に光をあてよう

子どもの短所に思えることは、長所であるという見方もできます。例えば飽きっぽいように見える子は、自分には合わないと感じたらすぐにやめる決断力があるともいえるでしょう。長所に光を当てれば、短所は見えなくなるものです。おうちの方が見方を変えれば、長所に注目して勇気づける関わりができるようになります。すると、子どもも自らの長所に目を向けられるようになり、自分のことをもっと好きになれるはずですよ。

「今」の子どものありのままを受け入れて

親は頭の中に理想の子どもの姿を思い描いてしまい、わが子を「ここがダメ」という引き算の見方でとらえがちです。しかし、子どもの存在そのものに注目すれば、「今日もこの子が生きていてくれてよかった」という喜びから出発して、そこからさまざまな喜びや感謝を足し算する見方ができるようになります。「よい子に育てなければ」と将来に目を向けて焦るのではなく、「今」の子どもを受け入れることをまずは大事にしましょう。



貢献感につながる 「ありがとう」の言葉を大切に

人は誰かの役に立てていると思えると、自分という存在に価値を見いだせます。子どもが騒いだときに注意するのではなく、子どもが機嫌良く過ごしているときに、「静かにしてくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えると、子どもは貢献感をもつことができます。家族への貢献の機会を与えるため、子どもの成長に応じてお手伝いをお願いするのもよいでしょう。「ありがとう」は子どもへの最大の勇気づけの言葉になります

(アドラーの子育て論の中から抜粋)

